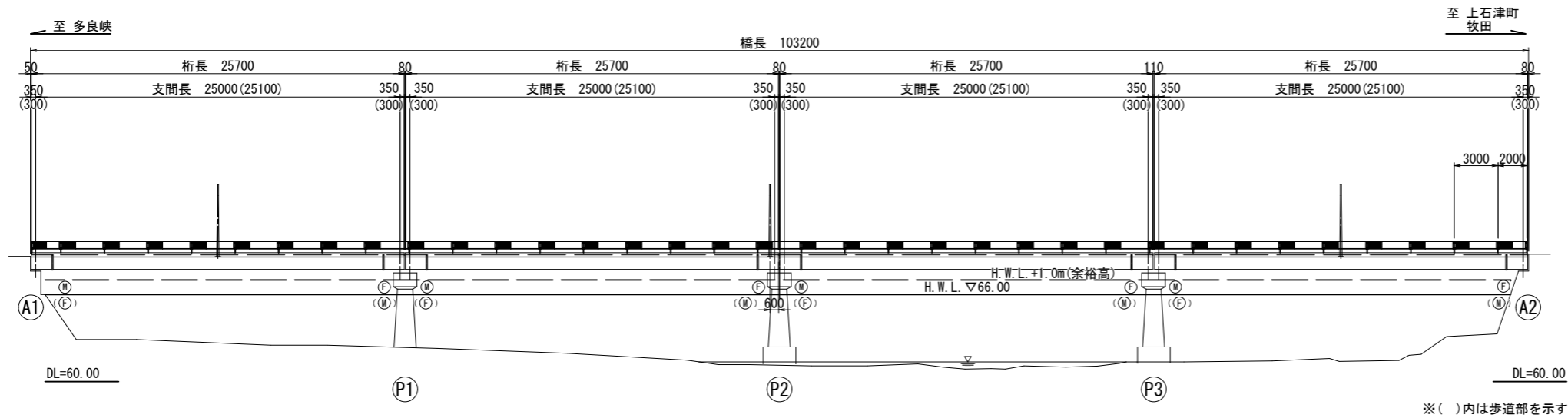
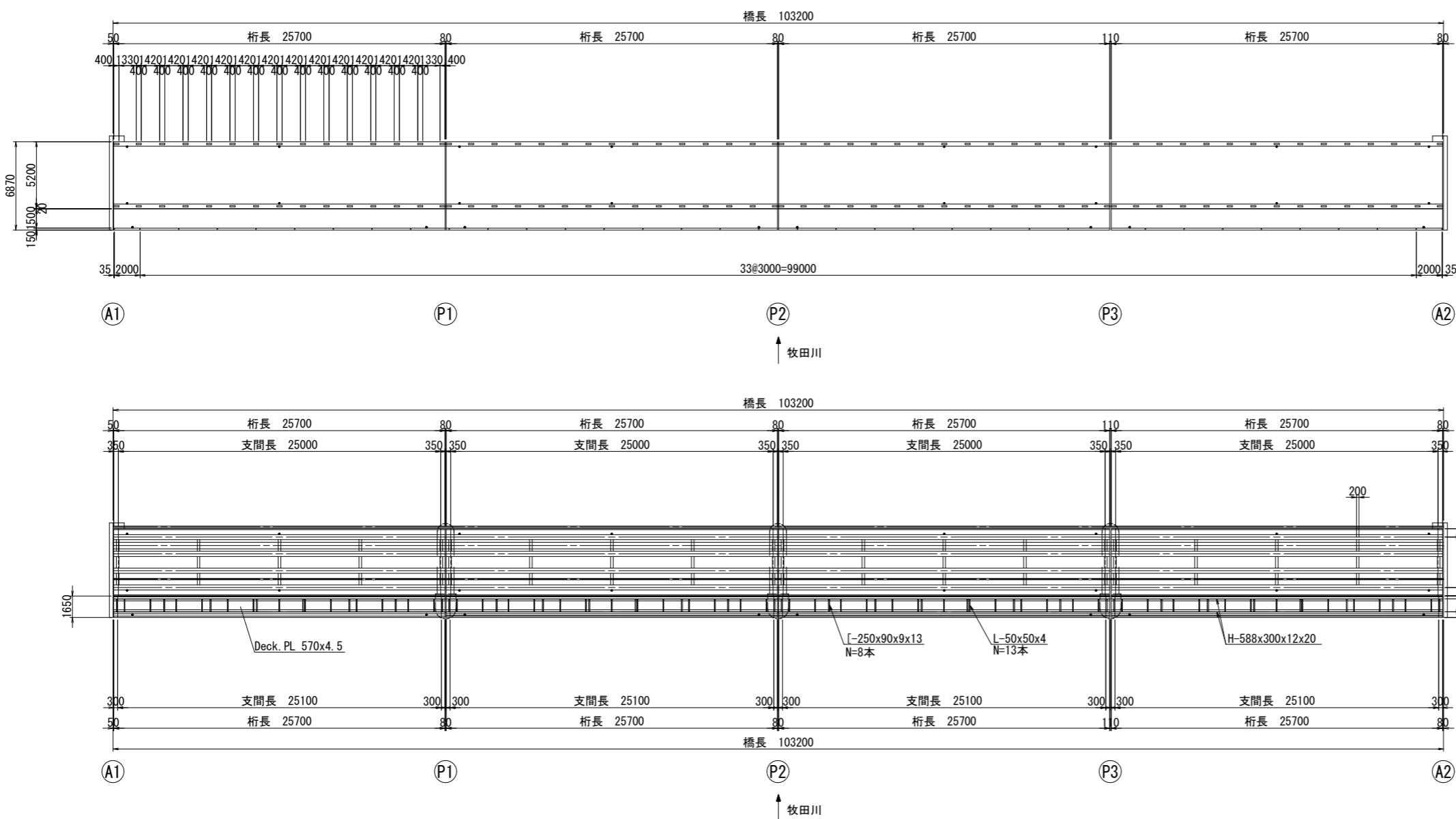


現況一般図（その1）

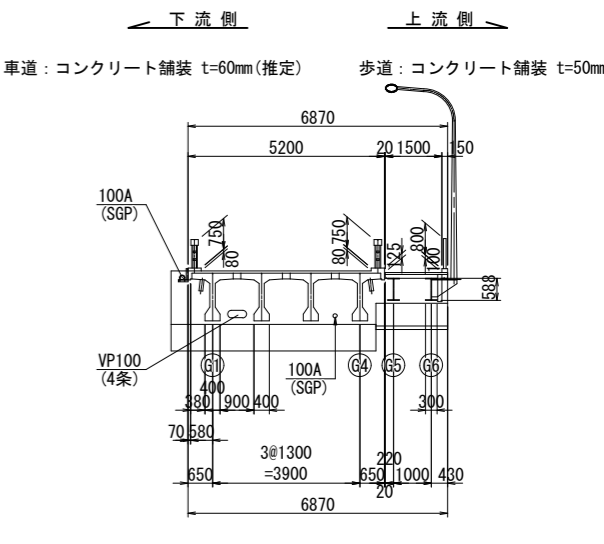
側面図 S=1:400



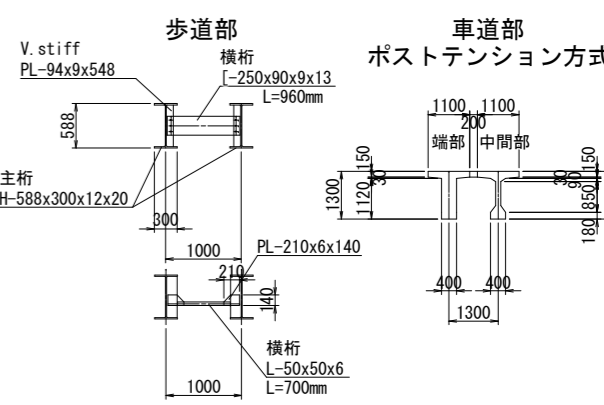
平面図 S=1:400



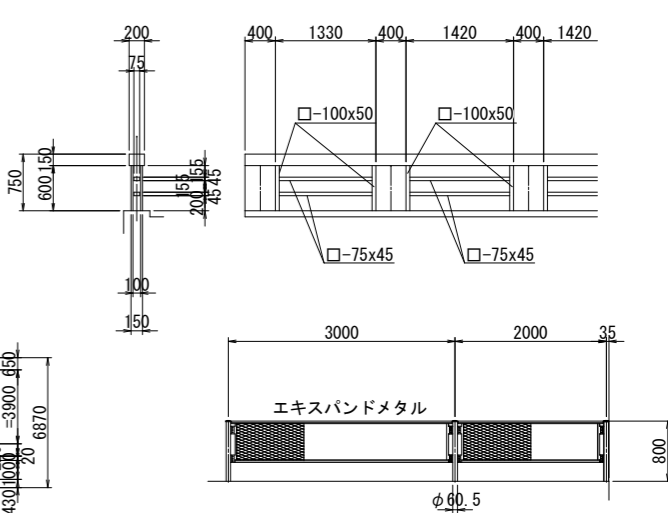
断面図 S=1:200



桁詳細図



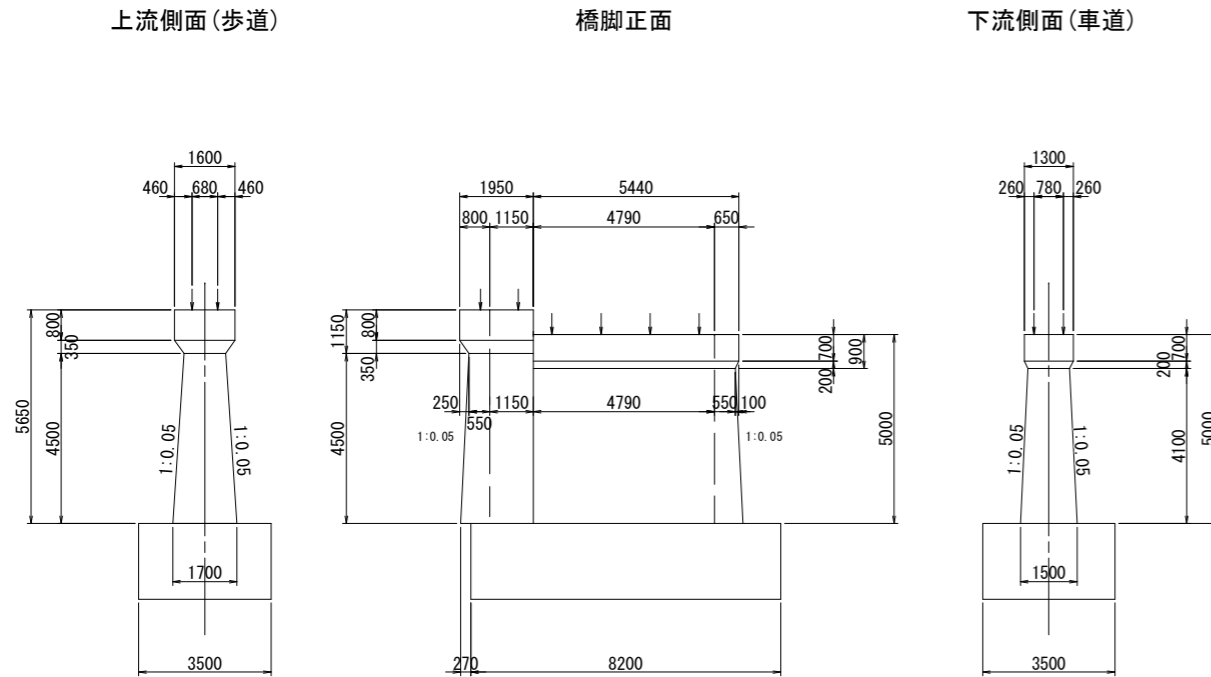
防護柵詳細図



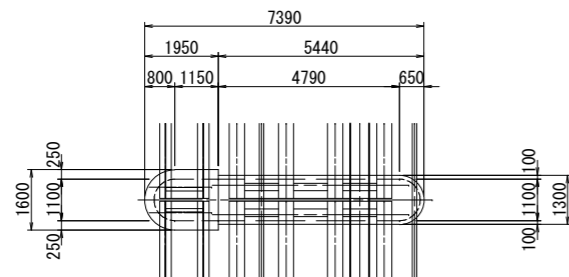
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	現況一般図 (その1)	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	1/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

## 現況一般図（その2）

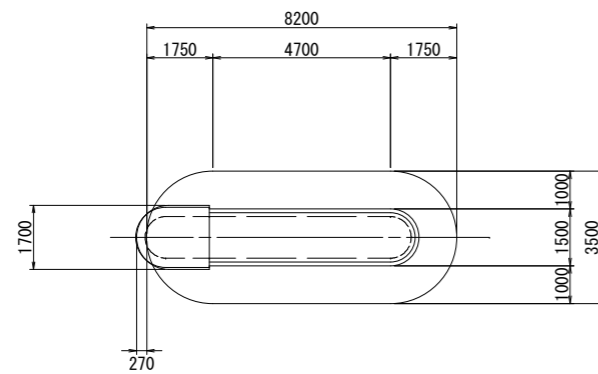
橋脚形状図 (P1~P3共通) S=1:200



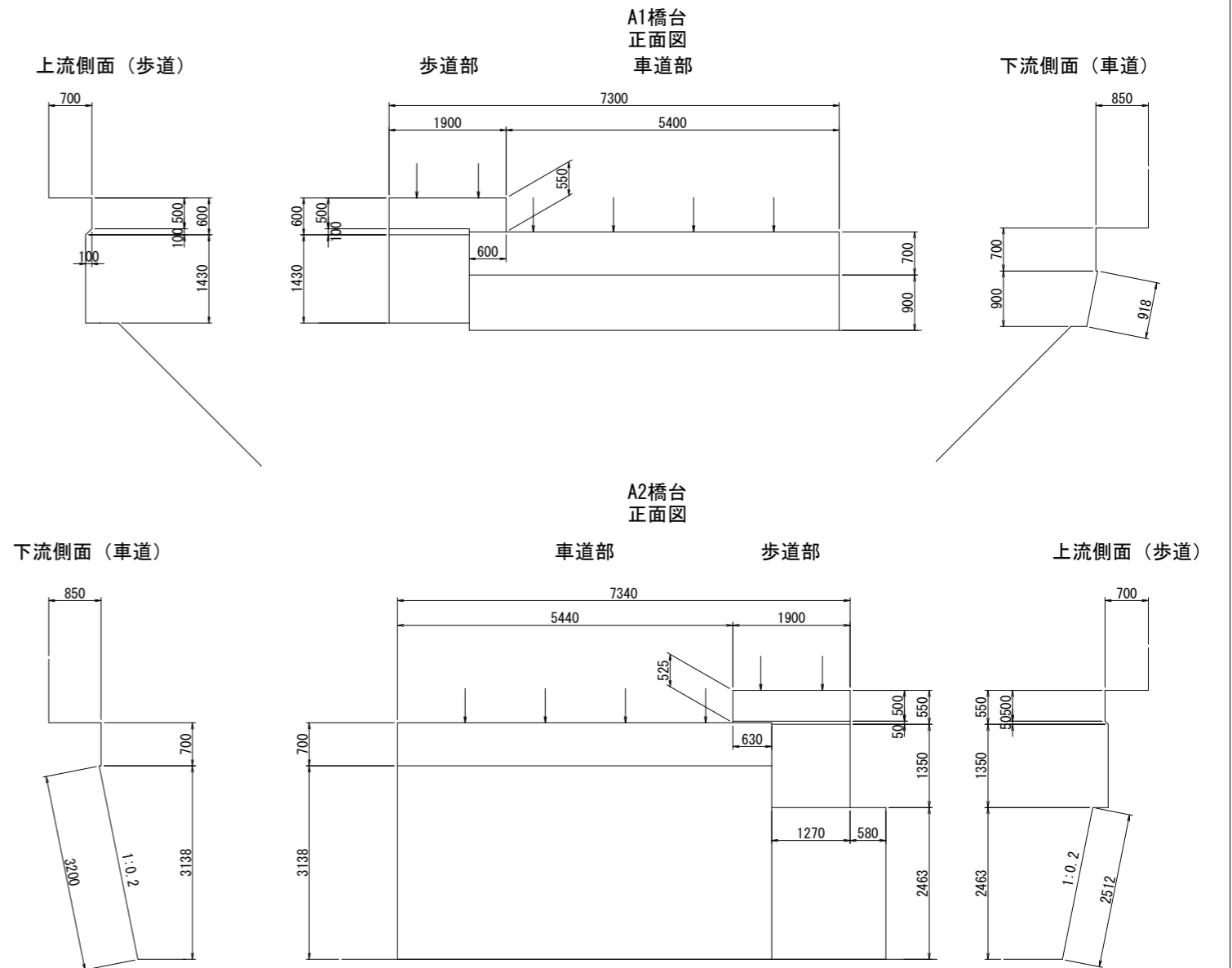
橋脚梁部



橋脚柱基部



橋台形状図 S=1:100



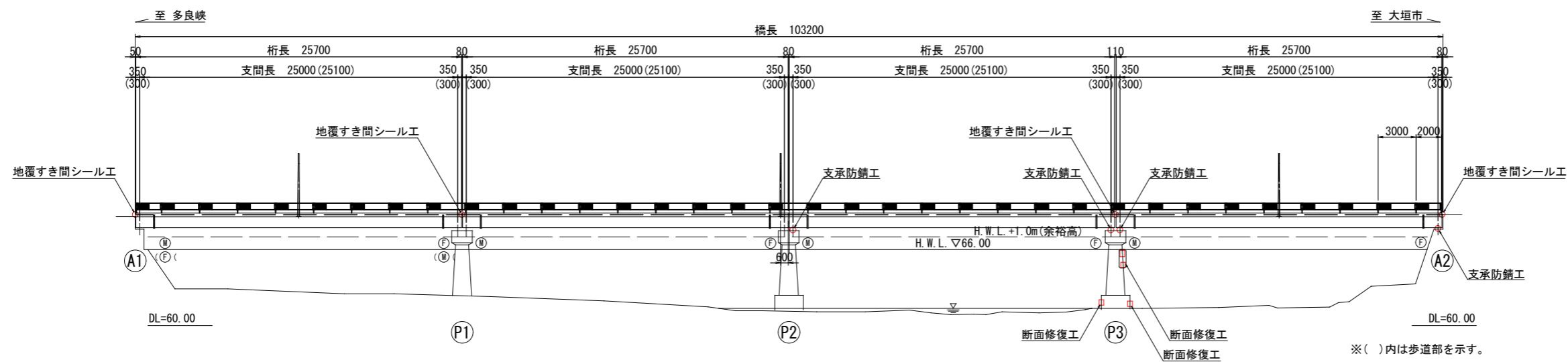
### 橋梁諸元表

橋 梁 名	一之瀬橋
路 線 名	一之瀬45号線
所 在 地	大垣市上石津町一之瀬
橋 長	103.2m
幅 員	全 幅) 6.9m 車道部) 5.2m 歩道部) 1.7m
上部工形式	車道部) ポストテンションPC単純T桁橋 歩道部) 鋼単純I桁橋
下部工形式	橋台不明、壁式橋脚（ケーソン基礎）
竣 工 年	車道部) 1960年（昭和35年） 歩道部) 1974年（昭和49年）

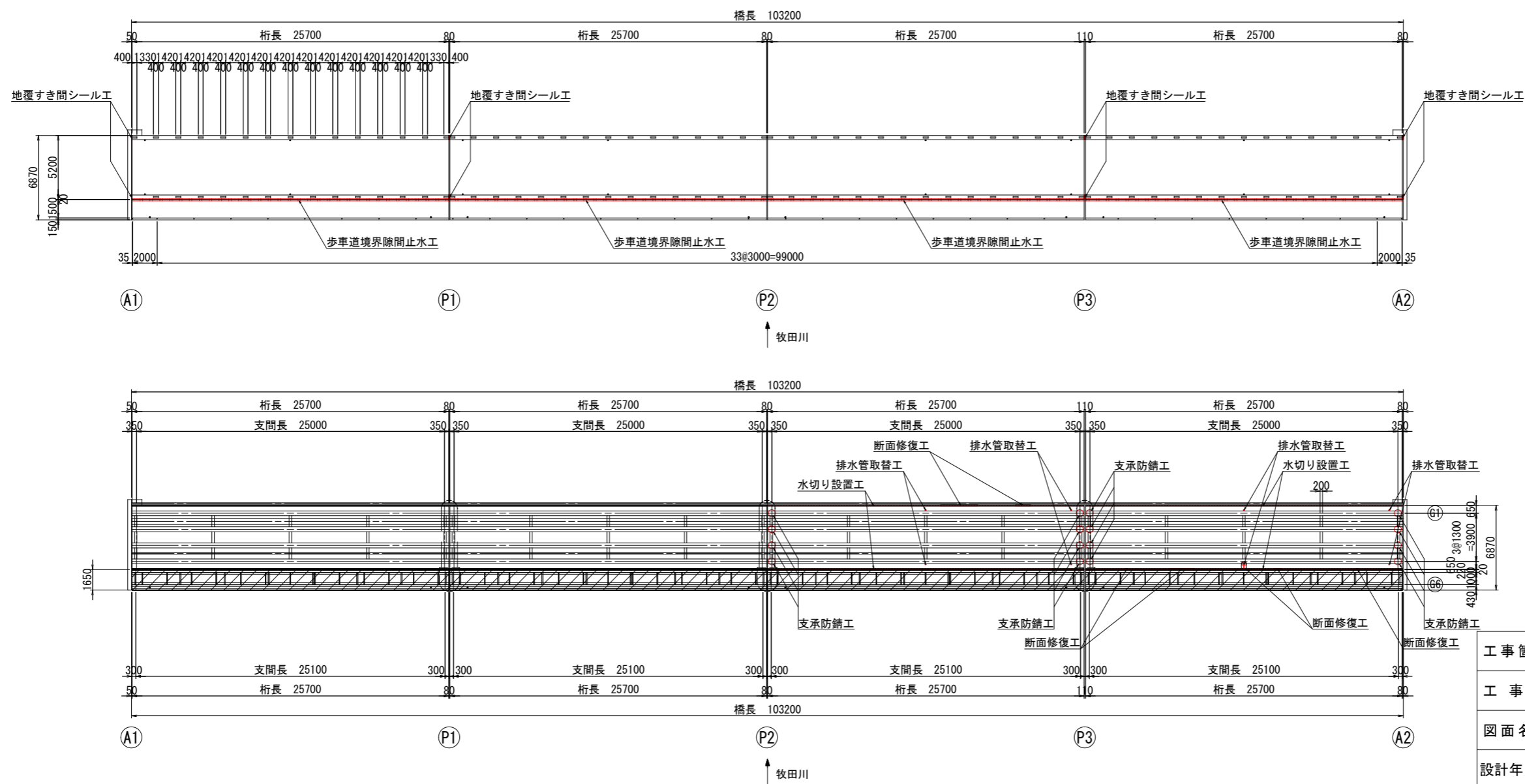
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	現況一般図 (その2)	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	2/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

補修一般図（その1） S=1:400

側面図

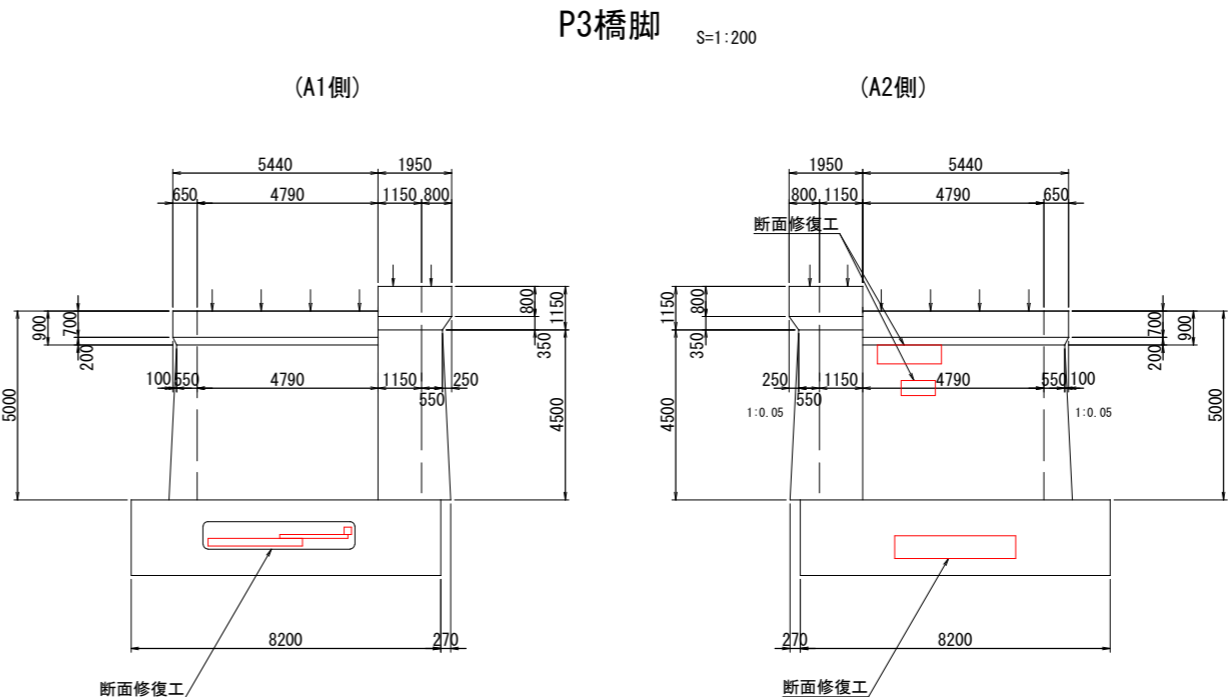
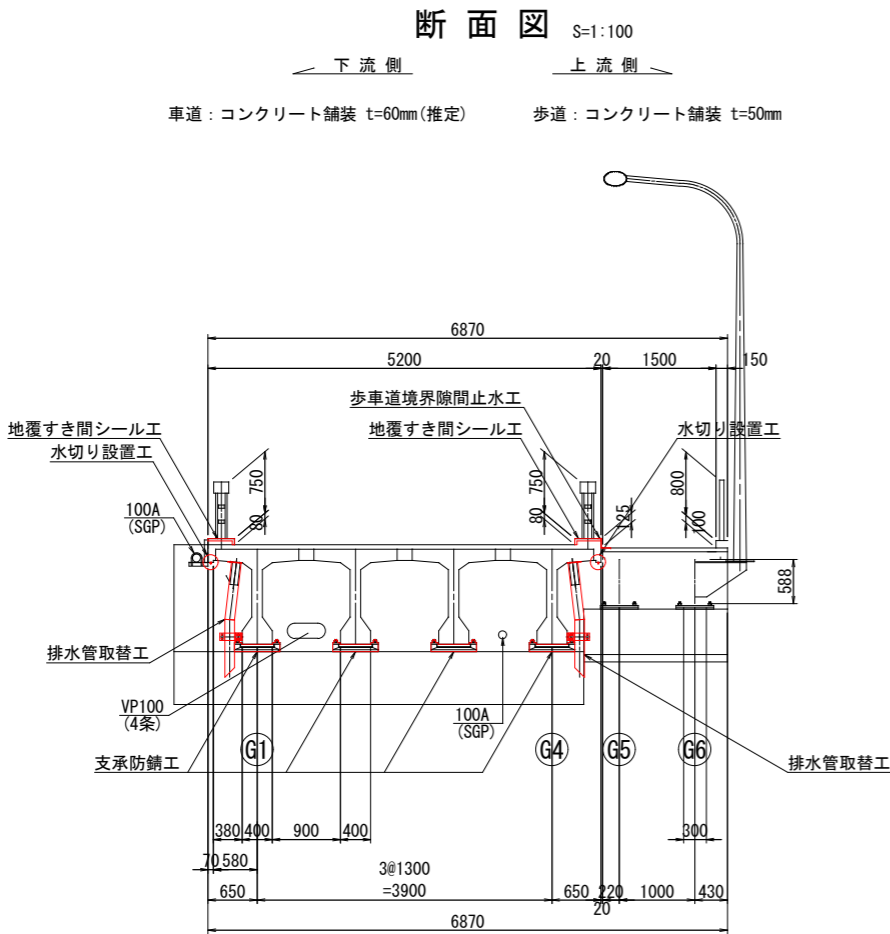


平面図



工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	補修一般図 (その1)	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	3/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

補修一般図（その2）



補修対策一覧

	対 策 工	
上 部 工	地覆すき間シール工	A1、P1、P3、A2
	歩車道境界隙間止水工	地覆
	排水管取替工	排水管
	断面修復工	横桁、床版、地覆
	水切り設置工	地覆
下 部 工	断面修復工	P3橋脚
	支承防錆工	支承

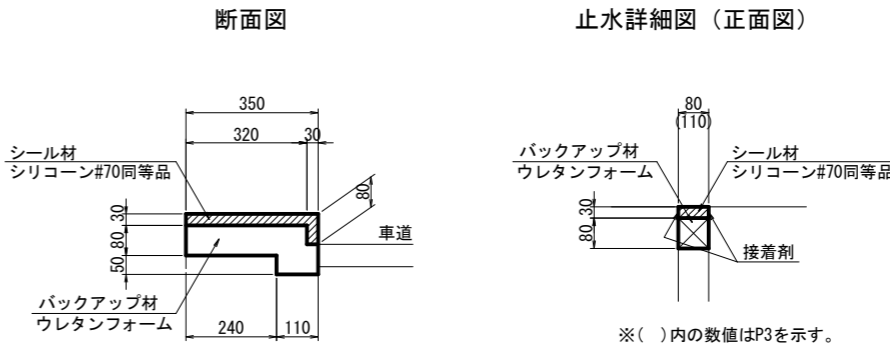
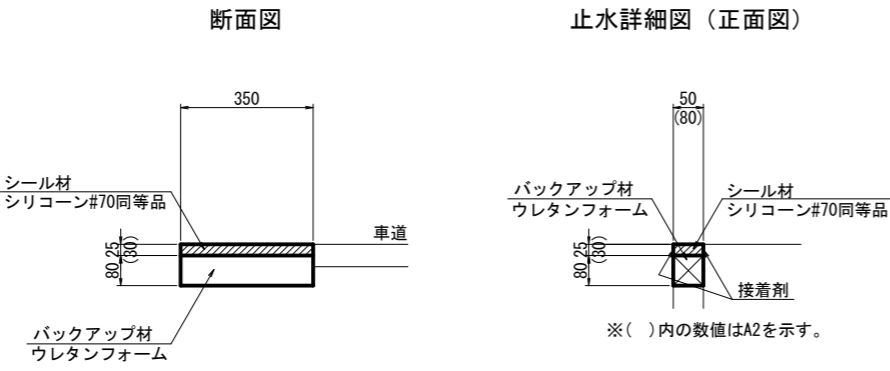
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修(一之瀬橋) 工事		
図面名称	補修一般図 (その2)	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	4/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

地覆すき間シール工

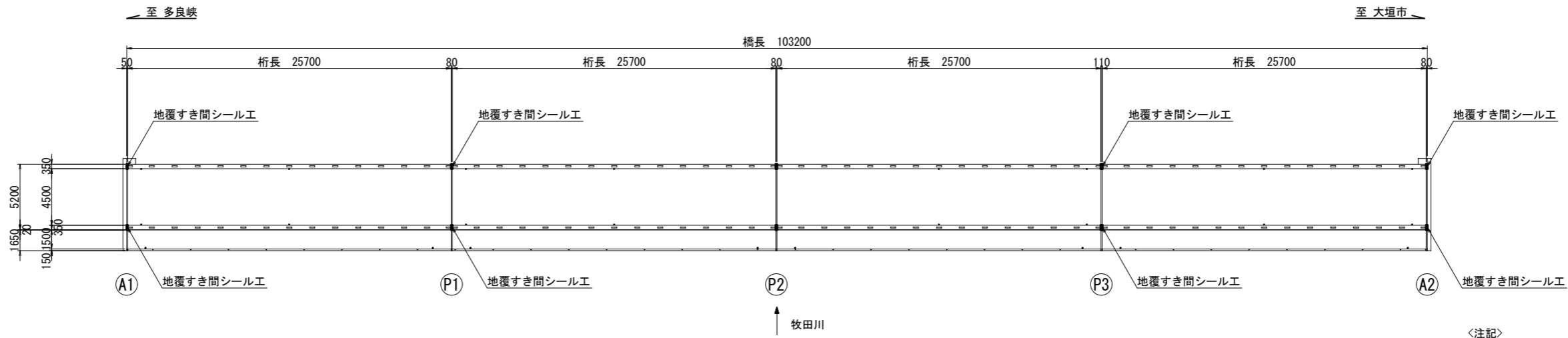
地覆部詳細図 S=1:20

A1, A2 (車道部)

P1, P3 (車道部)



位置図 S=1:400



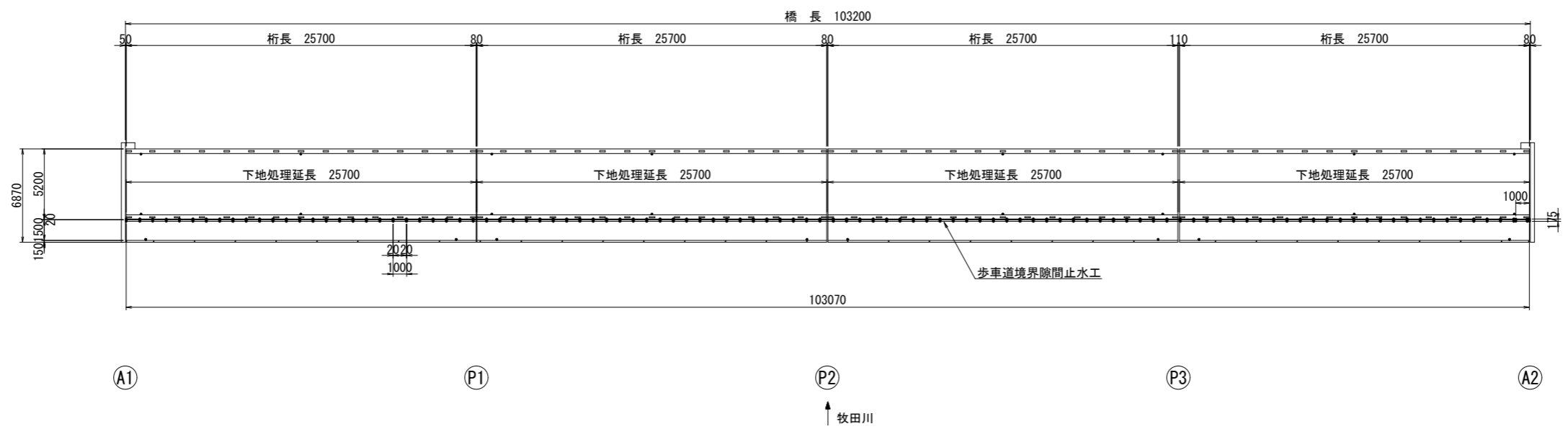
〈注記〉  
1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

地覆すき間シール工 数量表									
項 目	規 格	単位	A1	P1	P3	A2		合計数量	備 考
シール材	シリコーン#70同等品	L	0.88	1.92	2.64	1.68		7.12	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	2.80	5.12	7.04	4.48		19.44	
接着剤		g	7.0	9.6	9.6	8.4		34.6	

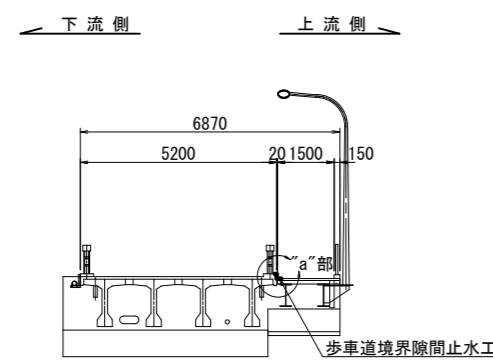
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	地覆すき間シール工	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	5/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

歩車道境界隙間止水工

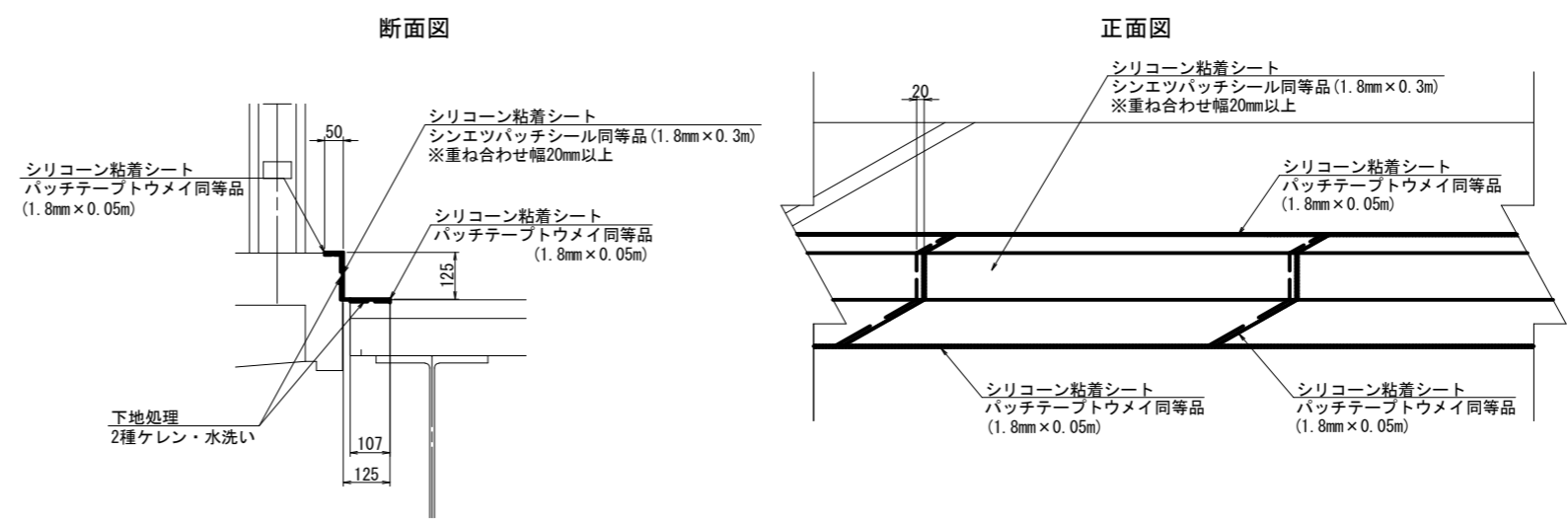
平面図 S=1:400



断面図 S=1:200



“a”部詳細図 S=1:20



歩車道境界隙間止水工 数量表

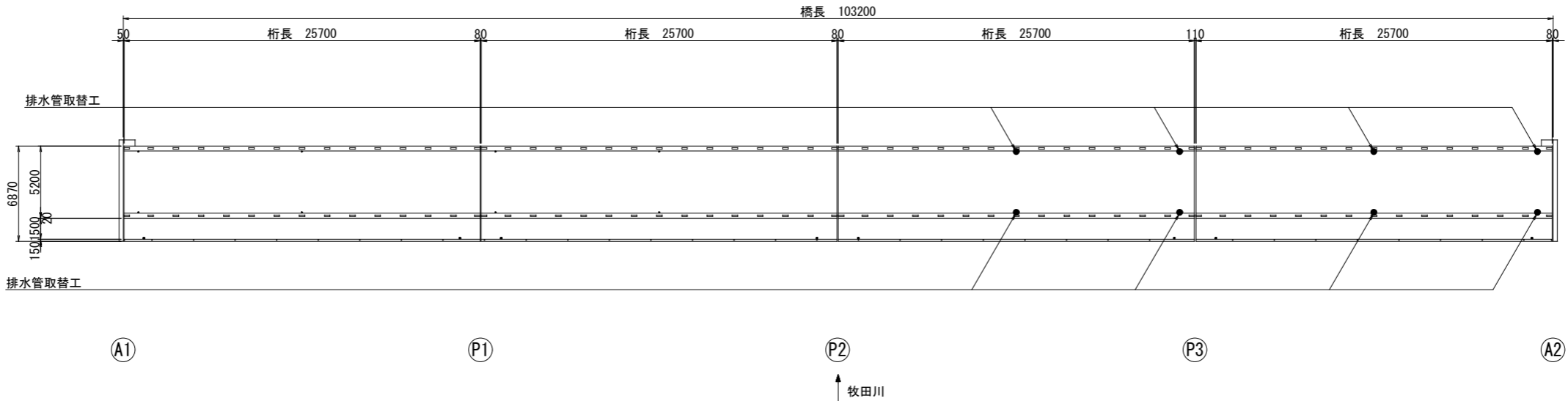
項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
シリコン粘着シート	シンエツパッチシール同等品 (1.8mm×0.3m)	m	103	
	パッチテーパートウメイ同等品 (1.8mm×0.05m)	m	237	
下地処理	2種ケレン・水洗い	m	103	W=332

＜注記＞  
1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

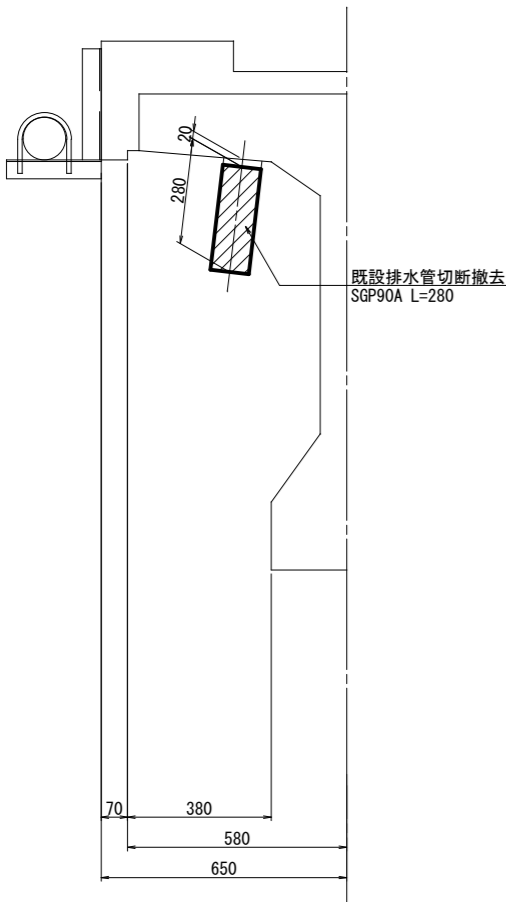
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	歩車道境界隙間止水工	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	6/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

排水管取替工

平面図 S=1:400

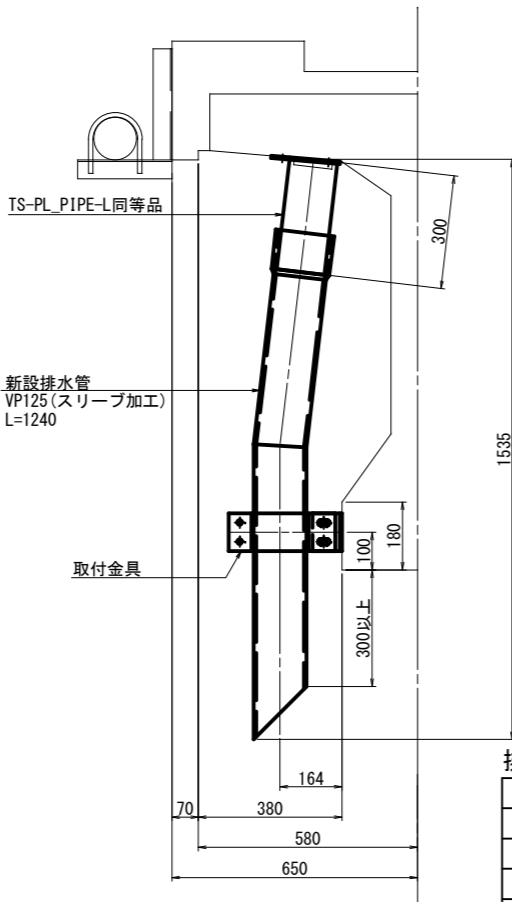


排水管撤去図 S=1:20



【撤去排水管数量】(1箇所当り)  
1-PIPE 90A×280 (SGP)

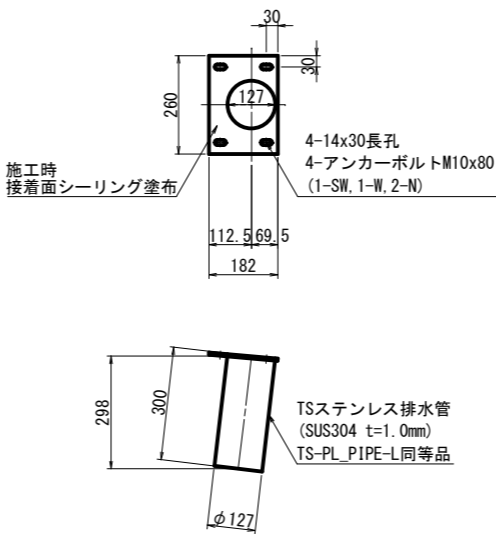
排水管復旧図 S=1:20



【新設排水管数量】(1箇所当り)  
1-TS-PL\_PIPE-L同等品  
1-VP 125×1240 (スリーブ加工)

天板プレート一体型排水装置 S=1:20

TS-PL\_PIPE-L同等品  
製作数=8  
NETIS No. CB-190003-Aに準ずる

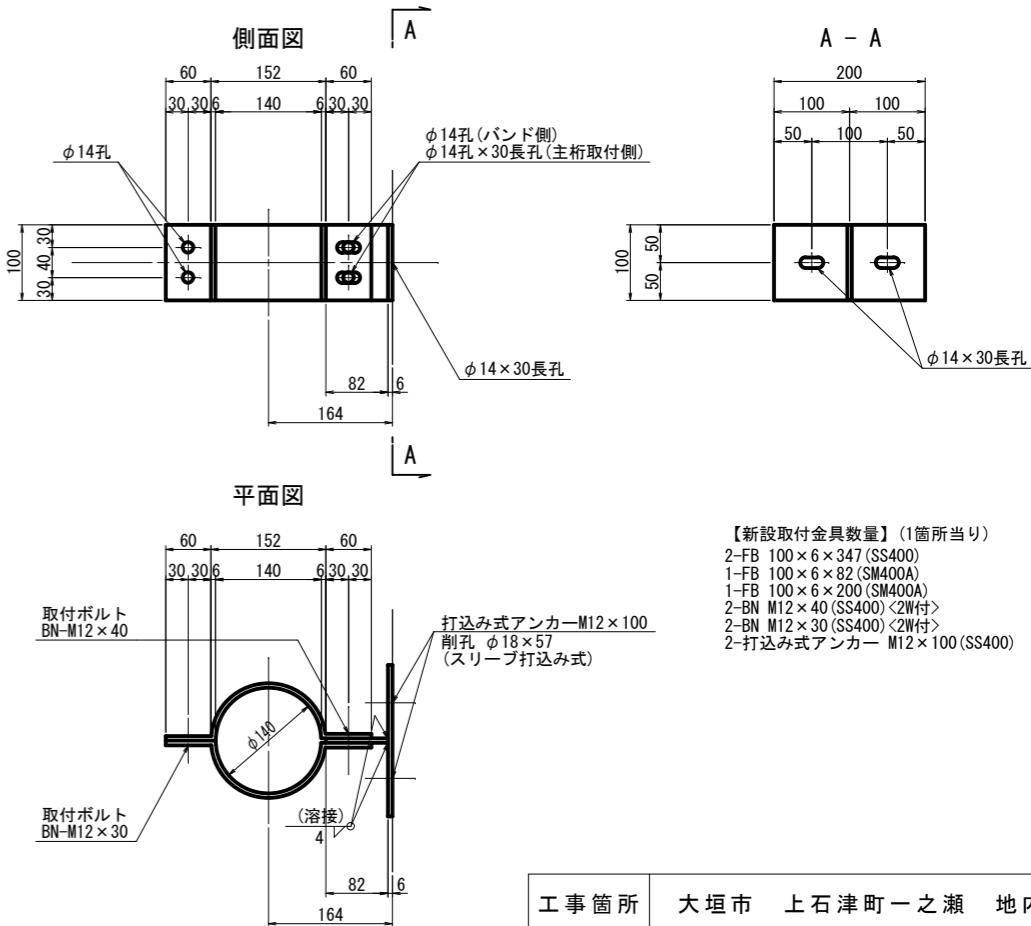


排水管補修工 数量表 (1橋当り)

項目	規格	単位	数量	摘要
ステンレス排水装置	TS-PL_PIPE-L同等品	基	8	L=0.300m (SUS304)
排水管設置	VP125	m	9.9	
鋼材重量		kg	39.3	ボルトナット含む
打込み式アンカー	M12×100	本	16	SS400 スリーブ打込み式
コンクリート削孔	φ18×57	孔	16	
溶融亜鉛メッキ	HDZT77	kg	36.9	
	HDZT49	kg	2.3	
鉄筋探査	上向き	m2	0.5	
	横向き	m2	0.7	
ガス切断	t=4.5mm	m	2.6	
鋼材撤去		kg	22.6	

取付金具詳細図 S=1:10

製作数=8



【新設取付金具数量】(1箇所当り)  
2-FB 100×6×347 (SS400)  
1-FB 100×6×82 (SM400A)  
1-FB 100×6×200 (SM400A)  
2-BN M12×40 (SS400) <2割付>  
2-BN M12×30 (SS400) <2割付>  
2-打込み式アンカー M12×100 (SS400)

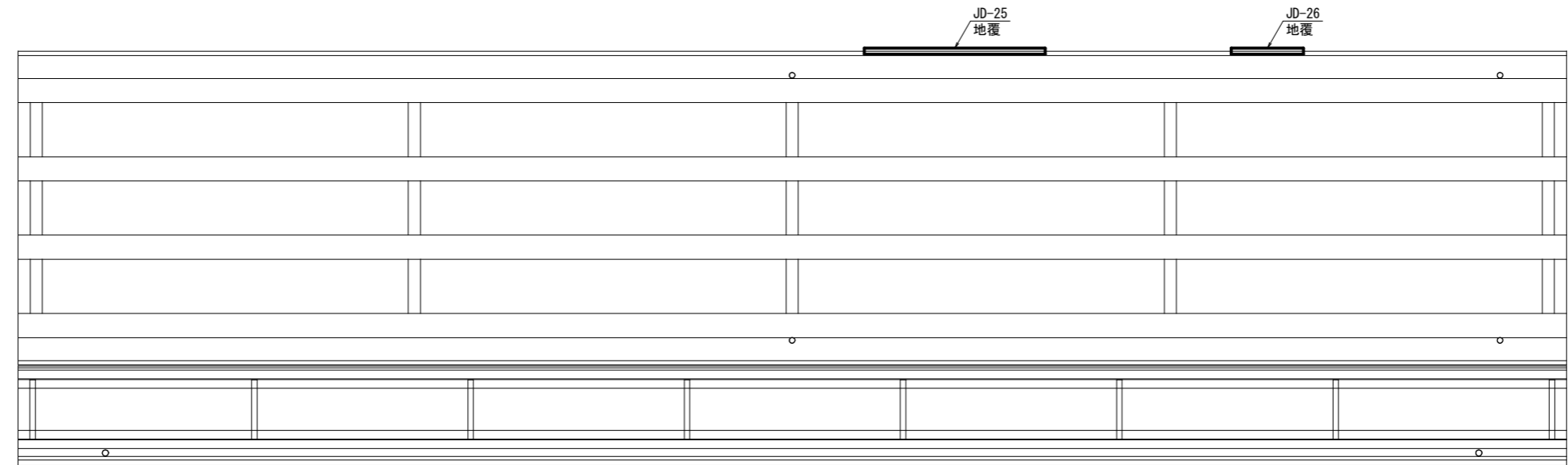
- ＜注記＞
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 特記なき材質はすべてSUS304とする。
  - 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-Aに準ずる。
  - t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じること。
  - 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。

工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	排水管取替工	縮尺	図示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	7/12
大垣市建設部道路課			

断面修復工（その1） S=1:100

平 面 図(桁下)

至 多良峡

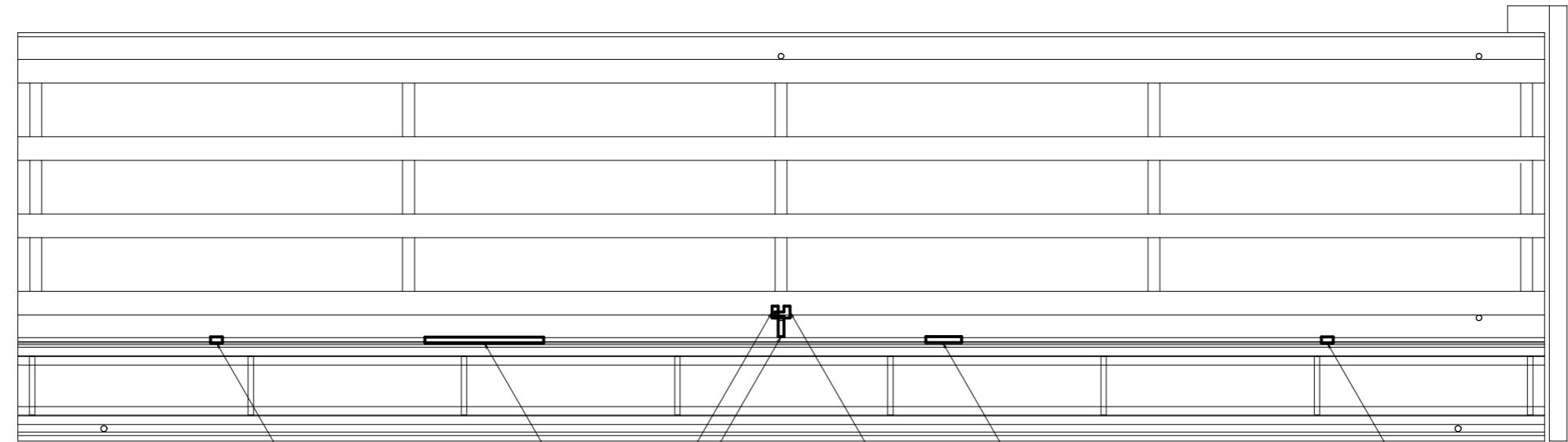


(P2)

↑ 牧田川

(P3)

至 大垣市



(P3)

JD-27  
地覆

JD-28  
地覆

JD-29  
横桁  
JD-30  
床版

JD-31  
横桁

JD-32  
地覆

JD-33  
地覆

↑ 牧田川

(A2)

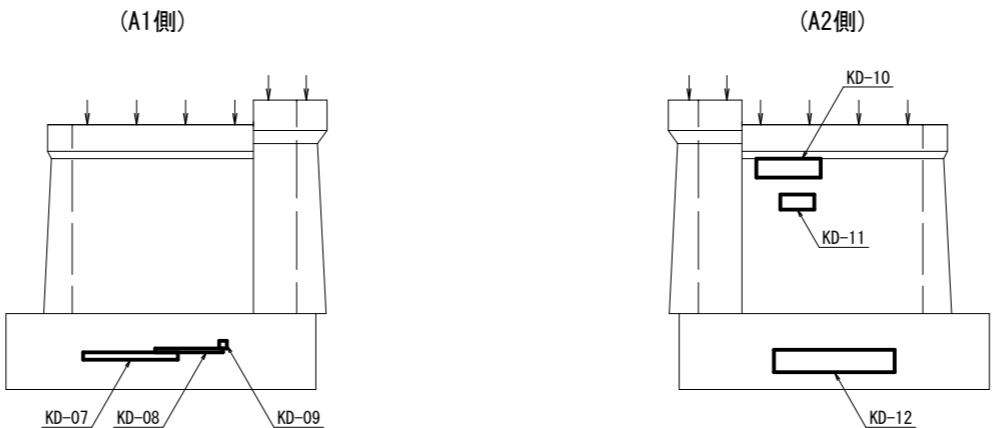
＜注記＞

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 断面修復の範囲は、「既往点検データ」、「現地踏査」等に基づき決めている。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるので、劣化状況を確認すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
- 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。

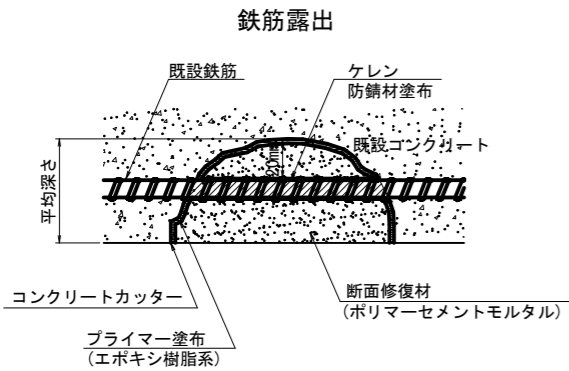
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図 面 名 称	断面修復工 (その1)	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	8/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

断面修復工（その2）S=1:200

下部工  
P3橋脚

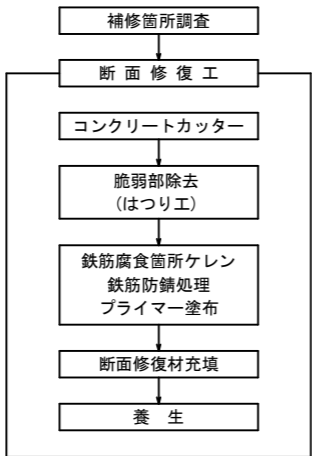


断面修復工詳細図(参考)  
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)

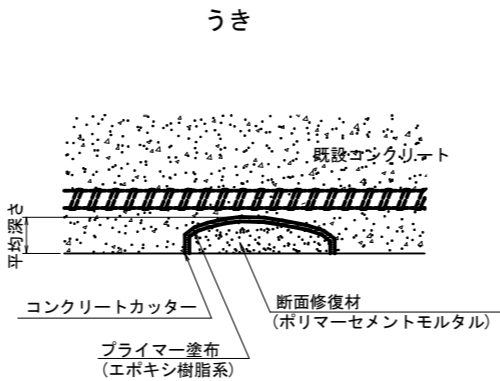


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。
- ※ PC部材は、鋼材の裏側までのコンクリートはつり取りは、実施しないこと。

施工手順

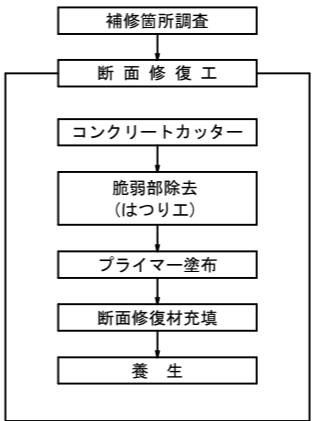


断面修復工詳細図(参考)  
(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ PC部材は、鋼材の裏側までのコンクリートはつり取りは、実施しないこと。

施工手順



断面修復工 集計表 (鉄筋ケレン・防錆処理含む)

1橋当り

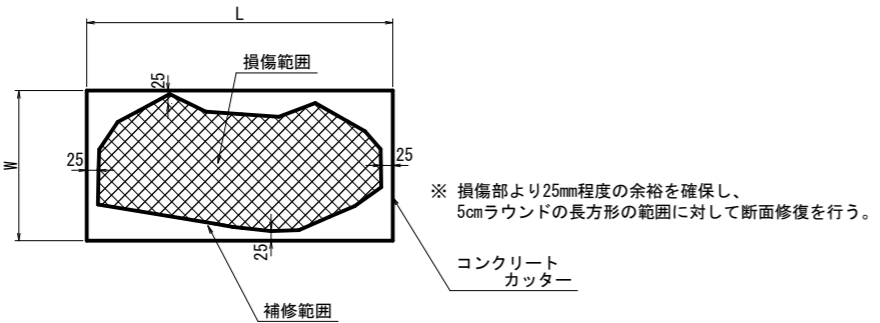
損傷箇所	No.	W × L × 平均深さ (m)	V (m3)	変状箇所
上部工	JD-25	0.100 × 3.000 × 0.070	0.0210	地覆
	JD-26	0.100 × 1.200 × 0.070	0.0084	地覆
	JD-27	0.100 × 0.350 × 0.070	0.0025	地覆
	JD-28	0.100 × 2.000 × 0.070	0.0140	地覆
	JD-29	0.850 × 0.200 × 0.070	0.0119	横桁
	JD-30	0.350 × 0.100 × 0.070	0.0025	床版
	JD-31	0.400 × 0.400 × 0.070	0.0112	横桁
	JD-32	0.100 × 0.600 × 0.070	0.0042	地覆
	JD-33	0.100 × 0.150 × 0.070	0.0011	地覆
施工量合計			0.0768	
下部工	KD-07	0.200 × 2.500 × 0.080	0.0400	
	KD-08	0.100 × 1.800 × 0.080	0.0144	
	KD-09	0.200 × 0.200 × 0.080	0.0032	
	KD-10	0.500 × 1.700 × 0.080	0.0680	
	KD-11	0.400 × 0.900 × 0.080	0.0288	
	KD-12	0.600 × 3.200 × 0.080	0.1536	
施工量合計			0.3080	

コンクリート殻処理 数量表

1橋当り

損傷箇所	V (m3)	備考
上部工+下部工	0.3848	参考重量 0.91t

断面修復範囲図



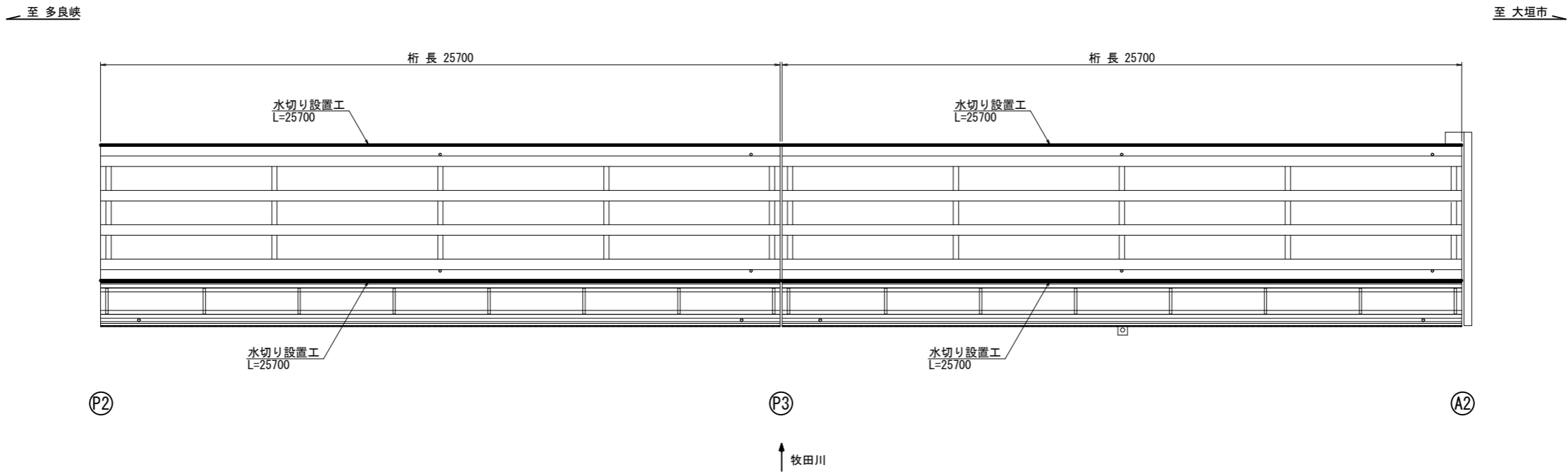
〈注記〉

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 断面修復の範囲は、「既往点検データ」、「現地踏査」等に基づき決めている。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるので、劣化状況を確認すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
- 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。

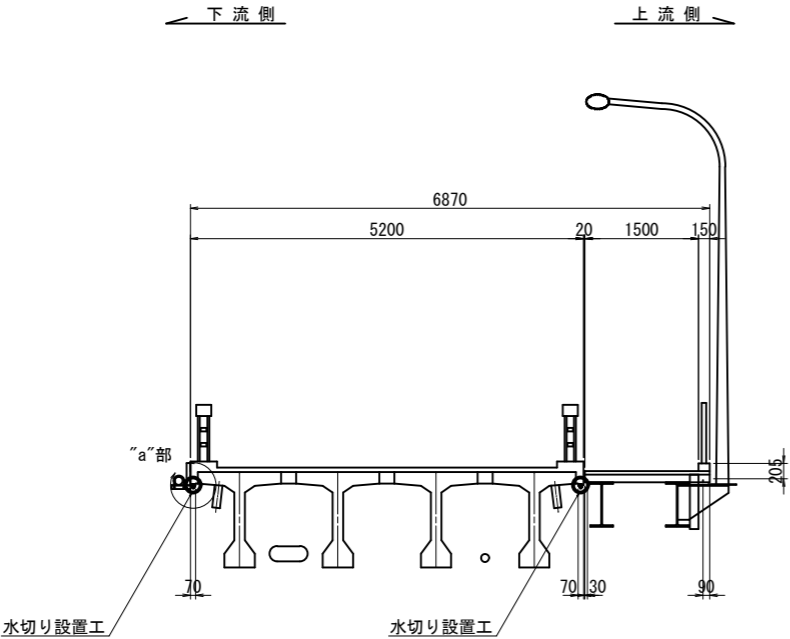
工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	断面修復工 (その2)	縮尺	図示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	9/12
大垣市建設部道路課			

水切り設置工 S=1:200

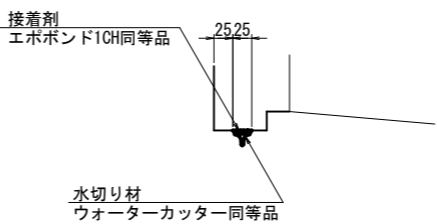
平 面 図 (桁下)



断 面 図 S=1:100

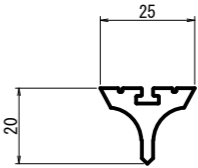


“a”部詳細図 S=1:10



水切り材形状 S=1:2

(ウォーターカッター同等品)



水切り設置工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工延長	ウォーターカッター同等品	m	102.8	専用接着剤セット
表面処理	水洗い	m2	5.1	車道部のみ

1橋当り

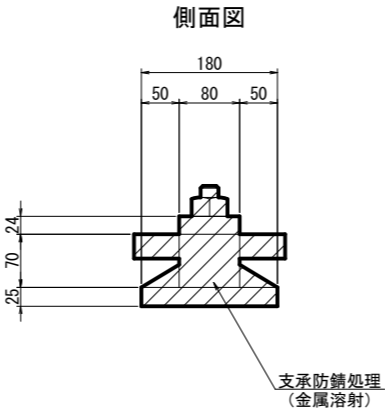
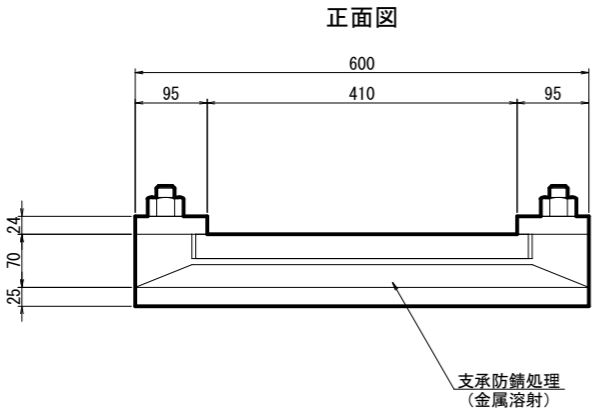
- ＜注記＞
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 水切り設置面は十分に埃等の除去、清掃を行うこと。

工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修 (一之瀬橋) 工事		
図面名称	水切り設置工	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	10/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

支承防錆工  
(車道部)

支承防錆工 S=1:10

線支承 1500kN以下

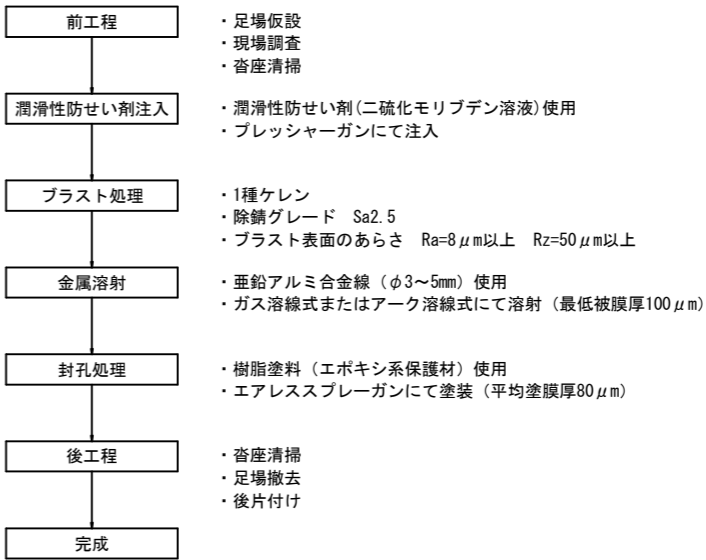


支承防錆工 数量表

1橋当り

名 称	基	備 考
P2	4	線支承 1500kN以下
P3	8	線支承 1500kN以下
A2	4	線支承 1500kN以下

施工手順 (参考)

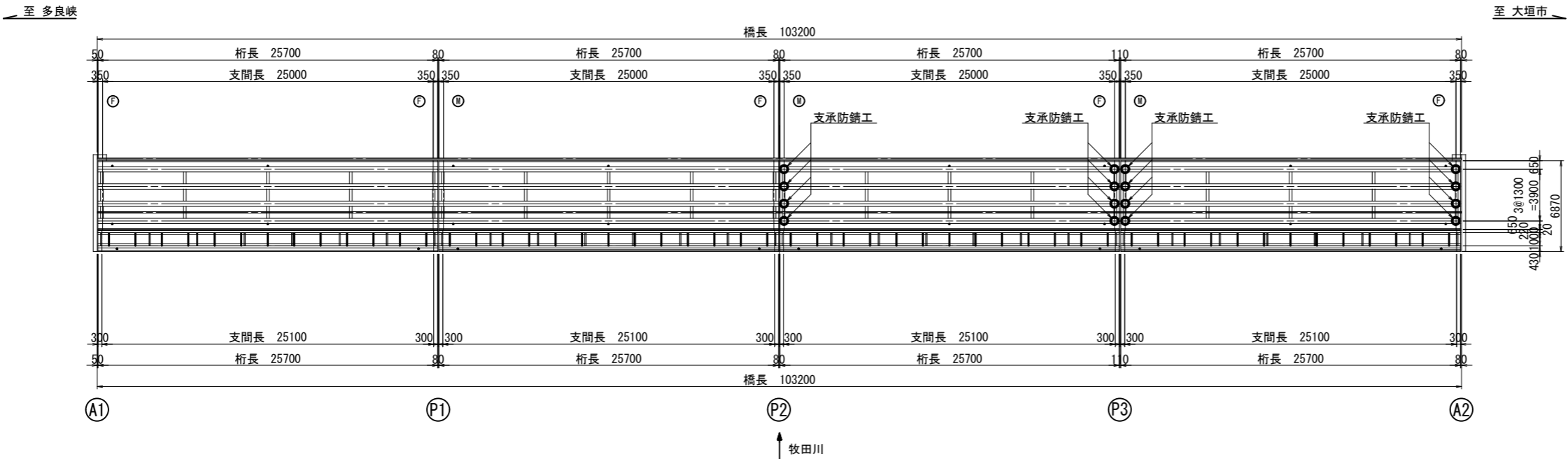


支承防錆 材料表

10基当り

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
潤滑剤	二硫化モリブデン溶液	ℓ	1.0	ロス率含む
研掃材	銅スラグ	kg	600	ロス率含む
溶射地金	亜鉛7%ミウム合金線	kg	20	ロス率含む
封孔処理剤	エポキシ樹脂塗料	kg	4	ロス率含む
上塗り染料	浸透性エポキシ樹脂塗料	kg	10	ロス率含む

位 置 図 S=1:400



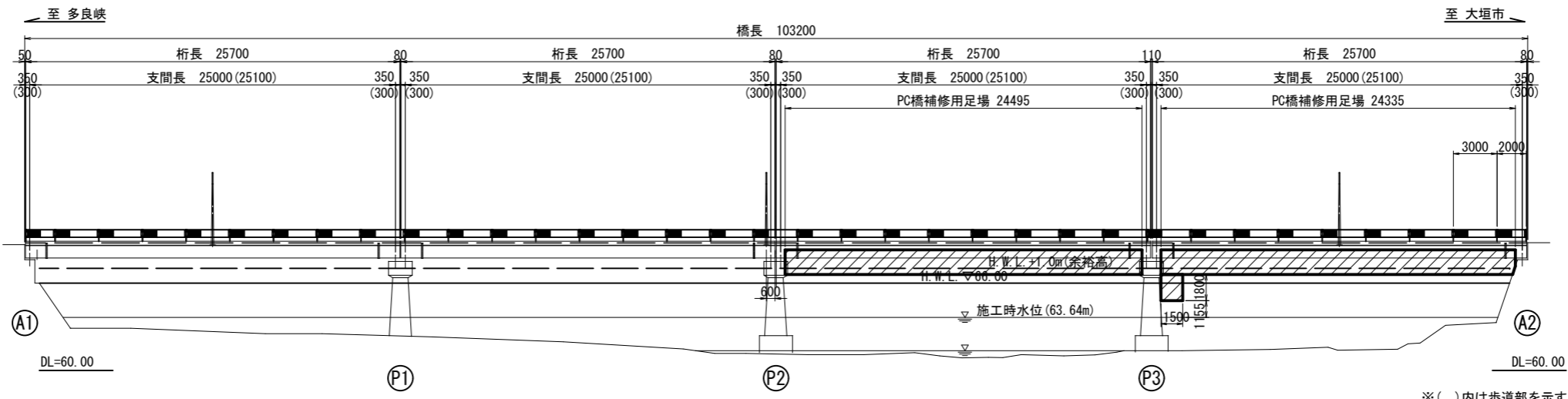
- 〈注記〉
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 施工時に新たに損傷が確認された場合、監督員の了承を得た後、必要に応じて補修を行うこと。
  - 沓座モルタルの補修を同時に行う場合には、既設モルタル撤去後に防錆処理の施工を行うこと。

工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工 事 名	(補) 橋梁補修(一之瀬橋) 工事		
図面名称	支承防錆工	縮 尺	図 示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	11/12
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

補修用足場工(参考図)

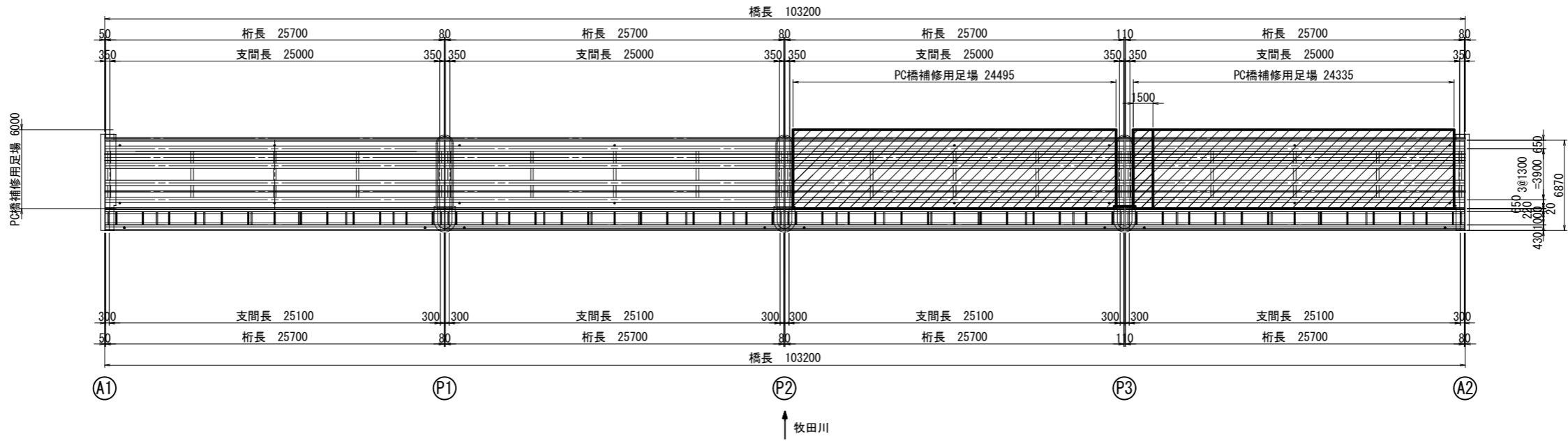
車道部

側面図 S=1:400

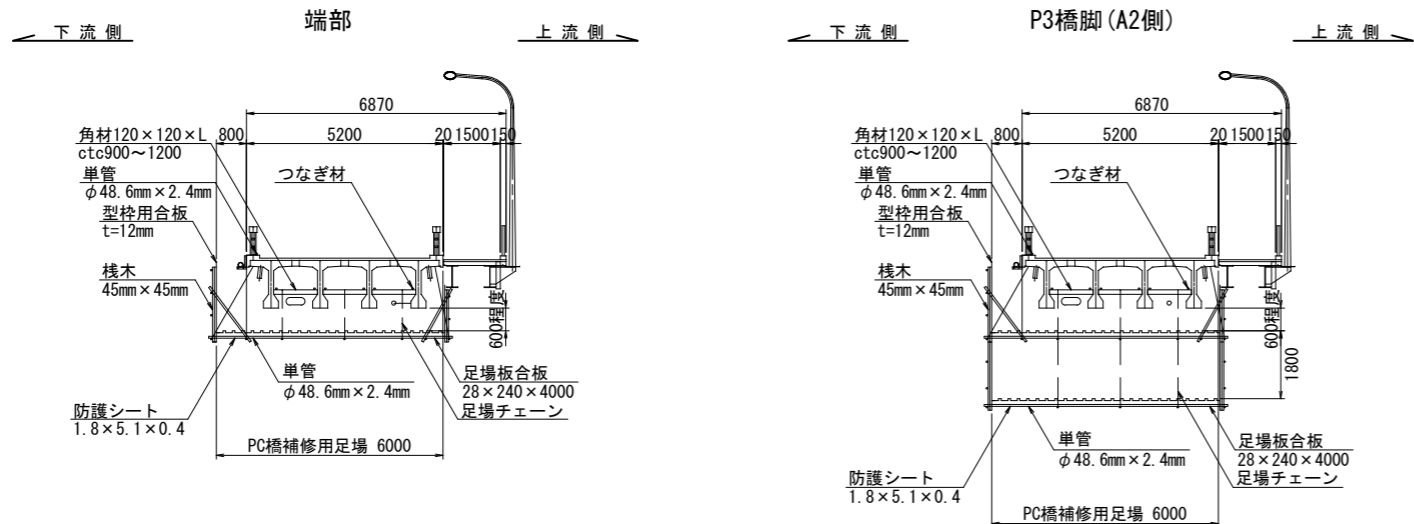


※( )内は歩道部を示す。

平面図 S=1:400



断面図 S=1:200



- <注記>
- 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 足場工の設備は「橋梁架設工事の積算(令和5年度版)」に準拠している。
  - 施工に際しては、強度計算を行い適切な部材配置を行うこと。

工事箇所	大垣市 上石津町一之瀬 地内		
工事名	(補) 橋梁補修(一之瀬橋) 工事		
図面名称	補修用足場工(参考図)	縮尺	図示
設計年月日	令和 年 月 日	図面番号	12/12
大垣市建設部道路課			